



発信者 ID ブロックの設定

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) の発信者 ID (CLID) ブロック機能について説明します。

このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[発信者 ID ブロックの機能情報](#)」(P.952) を参照してください。

内容

- 「[発信者 ID ブロックに関する制約事項](#)」(P.945)
- 「[発信者 ID ブロックについて](#)」(P.945)
- 「[発信者 ID ブロックの設定方法](#)」(P.946)
- 「[発信者 ID ブロックの設定例](#)」(P.950)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.950)
- 「[発信者 ID ブロックの機能情報](#)」(P.952)

発信者 ID ブロックに関する制約事項

発信コールに関する発信者 ID ブロックは、Foreign eXchange Office (FXO) ポート経由の PSTN コールには適用されません。FXO 接続の加入者線での発信者 ID 機能は PSTN サービス プロバイダーによって制御され、場合によっては発信者 ID ブロック サービスへの加入が求められることがあります。

発信者 ID ブロックについて

発信者 ID ブロックをイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「[発信コールに関する発信者 ID ブロック](#)」(P.946)

発信コールに関する発信者 ID ブロック

電話機ユーザは、特定の ephone-dn からのコールに関して発信者 ID の表示をブロックすることや、特定のダイヤルピアからの発信コールで名前または番号を選択によってブロックすることができます。

特定の ephone-dn からの発信コールについての発信者 ID 情報の表示はコールごとにブロックできるため、ユーザは必要に応じてプライバシーを保つことができます。発信者 ID ブロック用のコードは、システム管理者が Cisco Unified CME で定義します。着信側の電話機に自分の番号を表示させたくない場合、ユーザは発信する前にそのコードをダイヤルします。発信者 ID は送信されますが、その表示パラメータが「restricted」に設定されて、発信者 ID は表示されません。

特定の内線からのローカル コールに対して CLID 表示をブロックすると、遠端ゲートウェイ デバイスは、この ephone-dn から受信するコールの発信側情報の表示をブロックするよう通知されます。

または、CLID 情報のローカル表示を許可し、発信 VoIP コールに関して CLID の名前または番号を別個にブロックできます。この設定には、VoIP 経由で発信する外部コールに対する発信者 ID 表示を防止しながら、ローカル コールに対する発信者 ID 表示を許可できる利点があります。この機能は、ISDN 経由で発信する PSTN コールには使用できません。

発信者 ID ブロックの設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「SCCP : すべての発信コールに対する発信者 ID ブロック」(P.946) (任意)
- 「SCCP : ディレクトリ番号からの発信者 ID のブロック」(P.947) (任意)
- 「発信者 ID ブロックの確認」(P.949) (任意)

SCCP : すべての発信コールに対する発信者 ID ブロック

特定のダイヤルピアから発信 VoIP コールに関して CLID の名前および番号をブロックするには、次の手順を実行します。

制約事項

- 発信者 ID はローカル コールには引き続き表示されます。特定のディレクトリ番号からのすべての発信コールに関して発信者 ID 表示をブロックするには、**caller-id block** コマンドを使用します。「SCCP : ディレクトリ番号からの発信者 ID のブロック」(P.947) または「発信者 ID ブロックの確認」(P.949) を参照します。

手順の概要

1. enable
2. configure terminal
3. dial-peer voice tag [pots | voip]
4. clid strip
5. clid strip name
6. end

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>dial-peer voice tag [pots voip]</code> 例： Router(config)# dial-peer voice 3 voip	ダイヤルピア コンフィギュレーション モードを開始します。 (注) POTS インターフェイスが ISDN の場合は、POTS ダイヤルピアに関して発信者 ID ブロックを設定できません。この機能は FXO/CAS 回線では使用できません。
ステップ4	<code>clid strip</code> 例： Router(config-dial-peer)# clid strip	(任意) VoIP コールで送信される CLID 情報から発信側の番号を削除します。
ステップ5	<code>clid strip name</code> 例： Router(config-dial-peer)# clid strip name	(任意) VoIP コールで送信される CLID 情報から発信側の名前を削除します。
ステップ6	<code>end</code> 例： Router(config-dial-peer)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

SCCP : ディレクトリ番号からの発信者 ID のブロック

電話機ユーザが、特定のディレクトリ番号からの選択した発信コールに関して発信者 ID 表示をブロックするため、またはディレクトリ番号からのすべてのコールに関して発信者 ID 表示をブロックするためにダイヤルできるコードを定義するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `telephony-service`
4. `caller-id block code code-string`
5. `exit`
6. `ephone-dn dn-tag`
7. `caller-id block`
8. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none">プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	telephony-service 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	caller-id block code code-string 例： Router(config-telephony)# caller-id block code *1234	(任意) 発信者 ID を表示しないよう、発信前にユーザが入力できるコードを定義します。 <ul style="list-style-type: none">code-string : 最大 16 文字の番号桁。最初の文字はアスタリスク (*) にする必要があります。
ステップ5	exit 例： Router(config-telephony)# exit	telephony-service コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ6	ephone-dn dn-tag 例： Router(config)# ephone-dn 3	ephone-dn コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ7	caller-id block 例： Router(config-ephone-dn)# caller-id block	(任意) このディレクトリ番号から発信されるすべての発信コールに対して、発信者 ID 情報の表示をブロックします。 <ul style="list-style-type: none">このコマンドは、ephone-dn-template コンフィギュレーション モードで設定して 1 つ以上のディレクトリ番号に適用することもできます。ephone-dn の設定は ephone-dn-template の設定よりも優先されます。
ステップ8	end 例： Router(config-dial-peer)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

発信者 ID ブロックの確認

- ステップ 1** **show running-config** コマンドを使用して、発信者 ID ブロック パラメータを表示します。これらは、出力の telephony-service、ephone-dn、または dial-peer 部分に表示されます。

```
Router# show running-config

dial-peer voice 450002 voip
 translation-profile outgoing 457-456
 destination-pattern 457
 session target ipv4:10.43.31.81
 dtmf-relay h245-alphanumeric
 codec g711ulaw
 no vad
 clid strip
!
telephony-service
 fxo hook-flash
 load 7960-7940 P00305000600
 load 7914 S00103020002
 max-ephones 100
 max-dn 500
 ip source-address 10.115.34.131 port 2000
 max-redirect 20
 no service directed-pickup
 timeouts ringing 10
 system message XYZ Company
 voicemail 7189
 max-conferences 8 gain -6
 moh music-on-hold.au
 caller-id block code *1234
 web admin system name cisco password cisco
 dn-webedit
 time-webedit
 transfer-system full-consult
 transfer-pattern 92.....
 transfer-pattern 91.....
 transfer-pattern 93.....
 transfer-pattern 94.....
 transfer-pattern 95.....
 transfer-pattern 96.....
 transfer-pattern 97.....
 transfer-pattern 98.....
 transfer-pattern .T
 secondary-dialtone 9
 after-hours block pattern 1 91900 7-24
 after-hours block pattern 2 9976 7-24
!
 create cnf-files version-stamp 7960 Jul 13 2004 03:39:28
!
ephone-dn 2 dual-line
 number 126
 preference 1
 call-forward busy 500
 caller-id block
```

発信者 ID ブロックの設定例

この項では、次の例について説明します。

- 「発信者 ID ブロック コード : 例」 (P.950)
- 「SCCP : ディレクトリ番号からの発信コールに対する発信者 ID ブロック : 例」 (P.950)
- 「その他の参考資料」 (P.950)

発信者 ID ブロック コード : 例

次の例では、発信コールに関して発信者 ID をブロックするために電話機ユーザが入力する *1234 というコードを定義します。

```
telephony-service
 caller-id block code *1234
```

SCCP : ディレクトリ番号からの発信コールに対する発信者 ID ブロック : 例

次の例では、タグ 3 で ephone-dn に対して CLID ブロックを設定します。

```
ephone-dn 3
 number 2345
 caller-id block
```

次の例では、VoIP コールに関して CLID の名前と番号の表示をブロックしますが、ローカル コールには CLID 表示を許可します。

```
ephone-dn 3
 number 2345
 dial-peer voice 2 voip
 clid strip
 clid strip name
```

その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco Unified CME Command Reference』 • 『Cisco Unified CME Documentation Roadmap』
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco IOS Voice Command Reference』 • 『Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References』

関連項目	参照先
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco IOS Voice Configuration Library』 『Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides』
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 『User Documentation for Cisco Unified IP Phones』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクニカル サポートを受ける ・ソフトウェアをダウンロードする ・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける ・ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> - Product Alert の受信登録 - Field Notice の受信登録 - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索 ・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する ・トレーニング リソースへアクセスする ・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

発信者 ID ブロックの機能情報

表 72 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィーチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 72 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 72 発信者 ID ブロックの機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
発信者 ID ブロック	3.0	ローカル コールごとの発信者 ID ブロックが導入されました。
	1.0	発信コールに対する発信者 ID ブロックが導入されました。